土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

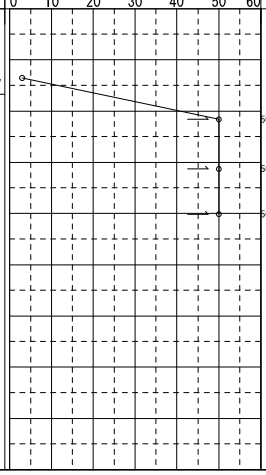
調査名	一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外	北緯	34° 23’ 52.3180″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月22日～ 令和2年12月25日	東経	132° 31’ 33.8382″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 113.59m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	112.39	1.20		砂質土		淡褐灰			未固結の砂質土からなる。 細粒砂が優勢。 木根、少量の細礫を含む。	
2	111.59	2.00		砂		灰	rd1		未固結の砂からなる。 やや粘性を帯びる。	12/23 1.67
3	109.59	4.00		花崗岩		淡褐灰			花崗岩の風化部(軟岩相当)。 岩組織を明瞭に残すが、ハンマー打撃で濁音を発して砕ける程度。 全体に亀裂が発達し、亀裂周辺は礫状で採取される。 深度2.6m、3.8m付近、3cm前後の岩脈。 境界は密着する。	
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3		
	1.56		140	170	410		
50以上	2.15	50			50	20	
	2.17	20			20		
50以上	3.10	50			50	60	
	3.16	60			60		
50以上	4.00	50			50	30	
	4.03	30			30		

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/23
				12/24